

「MEMO テクノス株式会社」取材レポート

経営学部 矢数彩花 (所属:道用ゼミ)

工学部 原田翔太 (所属:新中研究室)

◎ はじめに

MEMO テクノス株式会社様は相模原市緑区にある、音響の自動制御機器、機械やデータの制御装置などの設計・製造を行っている会社です。音響の自動制御機器分野においてはナンバーワンの企業です。今回は開発部営業担当の谷野様にインタビューを受けていただきました。会社を率いる現場の代表として、この展示会にかける意気込みを伺いました。

◎ 会社の主力製品・技術を教えてください。

当社の主力製品は自動放送制御装置、自動放送音源装置(音声合成方式)などの音響制御装置がメインとなっています。

◎ 主力製品のおもな売り先を教えてください。

当社では基本的には企業向けに商品を製造販売しております。最終的なエンドユーザーは鉄道会社様です。当社が直接鉄道会社に納めるわけではなく、施工管理会社に納めて、駅構内に設置されて使用されています。

◎ この展示会でアピールしたいものを教えてください。

この展示会では、「びびっとコーン」を展示しています。こちらの製品はカラーコーンにセンサーとコントローラーを取り付けたものです。今回の展示会では試作品の段階ですので反応するのはカラーコーンの正面のみですが、将来的にはカラーコーンの周囲にセンサーを設置して全方向に対して反応するようにしていきます。また距離に応じたセリフの変更、複数人がエリア内に入った際により近い人に反応するように優先度を変更できる機能を追加したいと考えています。その他にもセンサーのエリア設定などもお客様の要望に応じて変更できるようにしていこうと思っています。使用用途としては工事現場で注意喚起や、店舗やイベントなどの宣伝に使用できるのではないかと考えていますが、展示会の参加された方から様々な意見をいただいているのでまだまだ使い道があるのではないかと模索している状態です。

今まで同じような製品が全くなかったわけではありません。しかし従来品はセンサーに反応するには受信機を持っていなければなりません。受信機を持っている人のみにしか反応しないのであれば周囲への注意喚起を促すという側面では100%安全とは言えないのではないかと思います。「びびっとコーン」の企画を立ち上げました。当社は元々鉄道向け製品を作っているので自分たちで企画することはあまりないのですが、「音と制御を得意とするMEMO テクノスとして社会に役立つもので何ができるだろう」、「このような物があったら便利だよね」という観点から自分たちで一から企画、開発を行いました。

◎ 会社における展示会の位置づけを教えてください。

製品そのものの今後の方向性を見出す、会社のアピール・宣伝という2つのことを考えております。今回は新しい取り組みをしているので、どのようなお客様がいるのかを知るためにアンケートを行ってマーケティングリサーチをしています。

◎ 展示会で成果を出すために取組まれていることを教えてください。

この展示会のために勉強をしたいと思い、セミナーに参加しました。初めて展示会に出展した際に製品を出展しただけで終わってしまったという反省もあり、今回はお客様や他の企業様からの意見をいかにして吸い上げるのか、そのような点を含めて改善しながら今回の展示会に取り組んできました。

◎ 展示会での成果(受注事例、効果、メリット)などを教えてください。

正直なところ展示会での大幅な受注を得て売り上げを大きく伸ばしたということは今のところなく、勉強していかなければいけない部分であると思っております。しかし他の製品を作る際に協力していただける方などの人脈の幅を広げることができました。

◎ インタビューを終えて

今回、インタビューに対応していただいた谷野様には、懇切丁寧に質問に答えていただきました。私たちが電車を利用する際に必ずといっていいほど耳に入る音声など身近なところで活躍していることを知ることができたと同時に、音響の自動制御機器の新たな可能性を考える機会になりました。お忙しい中、協力を頂き、ありがとうございました。

◎ 会社概要

会社名	株式会社MEMOテクノス
HP	http://www.memotechnos.co.jp/
Facebook	https://www.facebook.com/memotechnos
所在地	神奈川県相模原市緑区西橋本 1-16-18
電話	042-810-0130
FAX	042-810-0140